

令和 7 年第 1 2 回美郷町議会定例会 行政報告より

※内容を一部編集しています

(有害鳥獣の被害及び駆除について)

はじめに、有害鳥獣の被害について報告いたします。

10月9日午前6時30分頃、住民が千畑地区小荒川の自宅玄関前で、熊2頭に遭遇し、顔をひっかかれるなどの人身被害が発生いたしました。

熊の出没が増加しており、町危険鳥獣対策警戒部では、引き続き、防災無線等による注意喚起のほか、警察や鳥獣被害対策実施隊と連携し、出沒地域へのパトロールや駆除作業など、人身被害の未然防止に努めてまいります。

有害鳥獣駆除の状況ですが、12月2日現在、鳥獣被害対策実施隊により、熊111頭、猪15頭、鹿8頭を捕獲しており、11月9日には、千畑小学校敷地内において緊急銃猟を実施し、熊1頭を捕獲いたしました。

また、10月14日開催の中学生を対象とした真昼岳登山教室及び、10月21日開催の美郷町中学校新人駅伝競走大会は、熊による人身被害が発生したことや生徒の安全確保が困難な状況であることを踏まえ、今年度は中止といたしました。こういった状況を踏まえ、自由に外で活動が出来ない小学生以下の子供たちに、安心して活動できる屋内環境を提供するため、11月15日から12月14日まで一部町内公共施設の無料開放を実施しております。

(インフルエンザ予防接種における誤接種について)

次に、インフルエンザ予防接種における誤接種について報告いたします。

11月5日、町が予防接種の委託業務として実施している「季節性インフルエンザワクチン」の接種において、誤って2歳の小児に対し成人量のワクチンを接種したことが町内医療機関からの報告により判明いた

しました。

担当医が接種直後に接種誤りに気がつき、対象児の母親に対して副反応および、その対処法について説明し、対象児の健康状態の悪化や健康障害の発生等についての確認をしたところ、接種日以降の健康被害は確認されておりません。

町では、当該医療機関に出向き接種手順を確認し、再発防止に向けた指導を行うとともに、引き続き委託医療機関への注意喚起により、安全な接種環境を確保してまいります。

（仙南地区の漏水について）

次に、仙南地区の水道の漏水について、報告いたします。

11月10日午前10時頃、仙南地区佐野で大規模な水道の漏水事故が発生し、この影響により、仙南地区の一部地域で1時間程度、水が出にくい状況となりました。直ちに復旧作業を行い、漏水箇所周辺の数件は工事のために断水となりましたが、同日午後4時頃には工事が完了し、復旧をいたしました。住民の方々にはご不便をお掛けいたしました。

（みさと重点テーマに係る事業について）

次に、第3次美郷町総合計画における「みさと重点テーマ」に係る事業について報告いたします。

「豊かさ実感」についてですが、読書・視聴覚環境向上事業として、10月5日、学友館及び中央ふれあい館を会場に美郷町読書フェスタを開催いたしました。当日は、町内ボランティア3団体による絵本の読み聞かせや人形劇、雑誌リサイクル市、手づくりしかけ絵本教室などを実施いたしました。併せて、「心に残った本の紹介コンクール」にご応募いただいた864作品の中から、各部門の最優秀賞を受賞した7人の方を表彰するとともに、ご応募いただいた全作品を9月12日から9月25日まで学友館内に、優秀作品を10月5日から13日まで図書館内に展示いたしました。

芸術文化推進事業として、9月11日、野外芸術空間創出事業の第1

作目のお披露目会を開催いたしました。当日は彫刻「夢のかなた」を制作された新谷 一郎（しんたに いちろう）氏によるアーティストトークを行い、作品に込めた思いなどをお話いただきました。

10月17日から11月16日まで、美郷町と大田区友好都市提携20周年並びに、美郷町と那珂川町防災協定締結10周年を記念し、学友館特別展「浮世絵版画展 広重・月光・巴水・松亭が描く時代の景色」を開催し、1,321人の方が鑑賞されました。初日には開会行事のほか、大田区立郷土博物館の学芸員並びに那珂川町馬頭広重美術館の学芸員によるギャラリートークを行いました。

「安全安心」についてですが、健康づくり・生活習慣改善事業として、11月13日、ぐっと楽健康教室10周年記念行事および日本航空株式会社と連携した健康づくり講演会を実施し、152人の方が受講されました。この事業では、明治安田生命保険相互会社とも連携し、先進的な健康測定機器を活用した健康チェックも併せて行いました。

（各課の個別の取り組みについて）

次に、各課の個別の取り組みについて報告いたします。

はじめに、総務課関係ですが、今年度の後期職員採用試験は、高校卒業程度を対象とした一般行政職など5区分で実施した結果、23人が受験し、3人を採用候補者名簿に登録いたしました。

次に、福祉保健課関係ですが、9月15日、敬老記念行事として、落語家で元秋田県住みます芸人 桂三若（かつらさんじゃく）氏を講師に迎え、講演会を開催いたしました。メイン会場を公民館、モニター会場を中央ふれあい館とし、当日は合計233人の方が観覧されました。

11月14日、今年金婚を迎えたご夫婦へのお祝いとして、各家庭にお伺いし、27組の方へ記念品をお渡ししました。

美郷町熱中症予防・省エネエアコン購入支援事業についてですが、10月31日をもって事業が終了し、15世帯に対して合計75万円を助成しております。

次に、こども子育て課関係ですが、10月26日、公民館にて「むし

歯のない子表彰式」を行い、令和6年度の3歳児健診で虫歯がなかった子63人を表彰いたしました。

11月15日、北体育館にて、明治安田生命保険相互会社との連携事業として、町内の5歳児を対象に「こどもまんなかフェス in みさと」を開催しました。ブラウブリッツ秋田による親子サッカー教室を行い、当日は親子合わせて24人が参加されました。

次に、商工観光交流課関係ですが、交流のある自治体との取り組みとして、東京都大田区内にて、10月11日、12日に「友好都市ふれあいひろば」、11月1日、2日に「OTAふれあいフェスタ」がそれぞれ開催され、町内製品の販売と観光PR等を行いました。

また、10月25日、26日に開催された美郷フェスタにおいては、北海道中富良野町と栃木県那珂川町の職員それぞれ4人が来町し、各地域の特産品等の販売や観光PRを行いました。

9月25日から27日まで、今年度からの新たな取り組みである、JALグループ会社社員と町民との交流機会を設ける事業の第2弾「地域の人とつながる美郷体験」を実施いたしました。JALグループ社員7人が参加し、農作業体験に加え、「美郷の水から食までの流れを知る」ことを目的に、六郷の清水を中心とする町内散策や七滝山登山、新米を使ったおにぎりビュッフェを行いました。また、滞在2日目の夜には、町内の農家や企業の方も参加した交流会を行い、相互の交流を深めました。

また、そのほかの事業連携協定を締結している企業との取り組みとして、小川香料株式会社より「美郷まんまの贈答用セット」を、取引のある企業に対し、年末のご挨拶としてお届けする旨の連絡がありましたので、ご報告いたします。

次に、農政課関係ですが、10月25日、26日に総合体育館リリオス及び公民館で「美郷フェスタ2025」を開催しました。「美郷大使佐々木毅先生と語る会」をはじめとした各種ステージイベントや各種展示、農産物の直売や飲食コーナーなどのほか、農産展や技能功労者などの各種表彰式を実施し、2日間で約8,000人が来場されました。

東洋ライス株式会社と秋田おばこ農業協同組合との包括連携協定に基

づき、11月1日から、道の駅美郷と美郷屋で金芽米の店頭販売が始まりました。併せて、11月4日からは学校給食の米飯で金芽米を提供しております。

また、六郷小学校児童を対象として、9月24日に稲刈り体験を実施したほか、11月18日には金芽米に関する栄養教室を開催いたしました。

そのほかの取り組みとして、11月7日、秋田おばこ農業協同組合から金芽米の米袋をイメージしたクリアファイルが贈呈されました。同ファイルは、町内小中学校児童生徒に配布し、お米や農業への理解や関心の醸成に活用してまいります。

次に、建設課関係ですが、11月5日、除雪出発式を北除雪センター車庫で行い、作業従事者や交通関係者とともに、安全で円滑な作業の実施を誓い合いました。式では、来賓の方々から激励のお言葉をいただいたほか、なかよし園の5歳児の皆さんからも応援のエールをいただきました。今シーズンは、除雪機械76台で車道約450キロメートル、歩道約52キロメートルの道路除排雪を行ってまいります。

9月から11月末までの主な工事発注状況については、道路維持工事1件、改良工事2件、舗装補修工事7件、河川浚渫工事4件を発注し、発注率は92.3パーセントとなっております。また、上下水道の企業会計と特別会計では、工事が施設改修工事5件、業務委託等として、施設保守点検業務2件を発注し、発注率は91.9パーセントとなっております。

次に、生涯学習課関係ですが、11月8日、11月30日に公民館を主会場、北ふれあい館、中央ふれあい館をリモート会場として「美郷カレッジ」を開催いたしました。11月8日は、中央大学文学部教授 鈴木俊幸（すずき としゆき）氏、11月30日は、読売新聞東京本社編集委員 古沢 由紀子（ふるさわ ゆきこ）氏を講師に迎え、合わせて158人が受講されました。

また、11月30日に公民館及び南ふれあい館を会場に、第8回わらの文化交流の集いを美郷カレッジと同日開催いたしました。

講師に千葉大学名誉教授 宮崎 清（みやざき きよし）氏を迎え、午後は東京農工大学科学博物館友の会、わら工芸サークル「蘗（ひこばえ）の会」によるワークショップを開催し、77人が参加されました。